2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	HPCシステムズ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6597	URL	https://www.hpc.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役	（氏名）	小野 鉄平
問合せ先責任者	（役職名） 取締役管理部長	（氏名）	下川 健司　（TEL）03-5446-5530
配当支払開始予定日	―		
決算補足説明資料作成の有無	：有		
決算説明会開催の有無	：無		

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	1,929	8.5	160	3.0	108	△35.2	71	△37.1
2026年６月期第１四半期	1,777	10.2	156	42.1	167	133.9	114	151.3

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　72百万円（△36.0%）　2026年６月期第１四半期　113百万円（141.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	18.60	18.57
2026年６月期第１四半期	27.55	27.39

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	14,430	2,354	16.3
2026年６月期	11,423	2,414	21.1

（参考）自己資本 2027年６月期第１四半期　2,354百万円　2026年６月期　2,414百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	32.00	32.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	36.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	31.5	1,085	52.2	893	30.3	620	36.1	162.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	4,375,500株	2026年６月期	4,375,500株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	508,131株	2026年６月期	508,131株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	3,867,369株	2026年６月期１Ｑ	4,150,389株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（収益認識関係） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善、政府による各種政策の効果や緩和的な金融環境等もあり景気の緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりや中国経済の減速の他、エネルギー高によるインフレ進行など景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループが属するコンピューティング業界においては、人工知能（AI）技術の進展によりデジタルトランスフォーメーション（DX）が加速し、少子高齢化など様々な社会課題の解決に向けた産業構造の変化を通じて引き続き市場規模の拡大が期待されております。又、自律的に稼働するAI技術を融合させたフィジカルAIへの関心も高まっており、関連する研究開発や環境整備に向けた需要拡大が広がりつつあります。

このような環境において当社グループは、「スーパーコンピュータからエッジコンピュータ」まで網羅するコンピューティングソリューションを提供しております。コンピュータサイエンスを駆使し、研究者や開発者の基礎研究、先端研究、製品開発から量産段階までワンストップで提供できる体制構築を進めております。事業部ごとに研究開発DX、製造業・非製造業DXを戦略分野と定め、当社の強みであるバランスのとれた広範な顧客基盤に対して、事業部間で異なるコンピューティング分野のシナジーを発揮できる独自性を生かし、事業基盤の強化に取り組んでおります。

当社グループが重視している人財面については、人的資本に関する基本的な考え方として「人財グランドデザイン」を策定し、戦略的に技術系人財の充実に努めております。次世代AI人財の育成と革新的技術の創出を目的として「総合技術・AI知識研究所」を新たに設立し、日本発の技術で世界に貢献する研究開発型企業への進化を図っております。又、グローバル戦略として海外向けソフトウエアライセンスビジネスの強化に取り組むとともに、欧州企業に出資を行うなど国内市場中心のビジネスモデルから海外事業の基盤強化を引き続き進めております。一方、円安進行による輸入コストの上昇、半導体・メモリー等の価格高騰や供給逼迫など厳しい事業環境ではありますが、「人とコンピューティングの力で世界平和に貢献する」という経営理念のもと、「中期経営計画Vision2027」の最終年度にあたり目標を達成すべく取り組んでおります。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は1,929,196千円（前年同期比8.5％増）、営業利益160,811千円（前年同期比3.0％増）、経常利益108,773千円（前年同期比35.2％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益71,950千円（前年同期比37.1％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① HPC事業

大学等公的研究機関向けは低調だったものの、民間企業向けが好調に推移したことで、売上高は前年同期比で増加となりました。引き続き案件管理の徹底を進めたものの、一部顧客向けに低粗利案件があったこと等もあり利益率が低下しました。技術系人財など人員増強や営業経費増で販売管理費が増加したことで、増収であったもののセグメント損失となりました。

以上の結果、HPC事業の売上高は941,145千円（前年同期比42.8％増）、セグメント損失は24,170千円（前年同期はセグメント利益17,569千円）となりました。

② CTO事業

継続顧客、新規顧客向けともに前年同期での大口受注の反動減もあり、売上高は前年同期比で減少となりました。一方、前年同期での一部大口低粗利案件の反動の他、価格転嫁を進めるなど利益率改善に努めたことで採算が大幅に改善しました。体制強化のための人員増強や営業経費増で販売管理費が増加したものの、利益率の改善により販売管理費の増加を吸収し、セグメント利益は前年同期比で増加となりました。

以上の結果、CTO事業の売上高は988,051千円（前年同期比11.7％減）、セグメント利益は184,982千円（前年同期比33.5％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は14,134,257千円となり、前連結会計年度末と比べ3,044,883千円増加いたしました。これは主に棚卸資産が2,278,933千円、その他が722,373千円増加したことによるものであります。固定資産は296,506千円となり、前連結会計年度末と比べ37,174千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が34,841千円、機械及び装置が2,138千円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は14,430,763千円となり、前連結会計年度末に比べ3,007,709千円増加いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は11,975,678千円となり、前連結会計年度末と比べ3,094,872千円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,643,548千円、短期借入金が1,503,000千円増加したことによるものであります。固定負債は100,272千円となり、前連結会計年度末と比べ27,562千円減少いたしました。これは株式給付引当金が16,188千円増加したものの、長期借入金が43,750千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は12,075,950千円となり、前連結会計年度末に比べ3,067,310千円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は2,354,813千円となり、前連結会計年度末と比べ59,601千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が60,125千円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の通期連結業績予想につきましては、2026年８月14日の「2026年６月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	762,648	837,231
売掛金	781,142	1,017,955
電子記録債権	3,757	24,807
製品	30,162	68,883
仕掛品	1,018,585	8,487,153
原材料及び貯蔵品	2,159,002	2,650,966
未着品	5,721,339	1,021
前渡金	446,400	157,530
その他	166,334	888,708
流動資産合計	11,089,373	14,134,257
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	58,731	57,145
機械及び装置（純額）	33,967	31,828
車両運搬具（純額）	196	179
工具、器具及び備品（純額）	12,054	12,003
土地	14,698	14,698
有形固定資産合計	119,647	115,855
無形固定資産		
ソフトウエア	25,894	27,537
無形固定資産合計	25,894	27,537
投資その他の資産		
投資有価証券	11,034	11,034
繰延税金資産	147,243	112,401
その他	29,859	29,676
投資その他の資産合計	188,137	153,112
固定資産合計	333,680	296,506
資産合計	11,423,053	14,430,763

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	301,427	1,944,976
短期借入金	7,490,000	8,993,000
1年内返済予定の長期借入金	175,000	175,000
未払法人税等	150,779	8,531
前受金	455,475	531,977
賞与引当金	110,000	35,256
執行役員賞与引当金	12,967	4,002
役員賞与引当金	12,283	3,249
製品保証引当金	58,686	64,003
その他	114,186	215,681
流動負債合計	8,880,805	11,975,678
固定負債		
長期借入金	106,250	62,500
株式給付引当金	21,584	37,772
固定負債合計	127,834	100,272
負債合計	9,008,639	12,075,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	231,516	231,516
資本剰余金	385,171	385,171
利益剰余金	2,727,727	2,667,602
自己株式	△932,489	△932,489
株主資本合計	2,411,926	2,351,800
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,488	3,012
その他の包括利益累計額合計	2,488	3,012
純資産合計	2,414,414	2,354,813
負債純資産合計	11,423,053	14,430,763

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	1,777,865	1,929,196
売上原価	1,229,000	1,294,222
売上総利益	548,864	634,974
販売費及び一般管理費	392,711	474,162
営業利益	156,153	160,811
営業外収益		
受取利息	2,898	2,005
保険配当金	266	745
確定拠出年金返還金	548	―
為替差益	8,322	―
その他	747	555
営業外収益合計	12,784	3,306
営業外費用		
支払利息	1,151	32,620
為替差損	―	22,725
営業外費用合計	1,151	55,345
経常利益	167,785	108,773
特別損失		
固定資産除却損	32	―
特別損失合計	32	―
税金等調整前四半期純利益	167,752	108,773
法人税、住民税及び事業税	7,250	1,981
法人税等調整額	46,139	34,841
法人税等合計	53,389	36,823
四半期純利益	114,362	71,950
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,362	71,950

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	114,362	71,950
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,080	524
その他の包括利益合計	△1,080	524
四半期包括利益	113,282	72,474
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,282	72,474

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	HPC事業	CTO事業	合計		
売上高					
一定時点で移転される財	627,337	1,119,025	1,746,362	―	1,746,362
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	31,502	―	31,502	―	31,502
顧客との契約から生じる収益	658,839	1,119,025	1,777,865	―	1,777,865
その他の収益	―	―	―	―	―
外部顧客への売上高	658,839	1,119,025	1,777,865	―	1,777,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	658,839	1,119,025	1,777,865	―	1,777,865
セグメント利益	17,569	138,583	156,153	―	156,153

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	HPC事業	CTO事業	合計		
売上高					
一定時点で移転される財	898,792	988,051	1,886,843	―	1,886,843
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	42,353	―	42,353	―	42,353
顧客との契約から生じる収益	941,145	988,051	1,929,196	―	1,929,196
その他の収益	―	―	―	―	―
外部顧客への売上高	941,145	988,051	1,929,196	―	1,929,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	941,145	988,051	1,929,196	―	1,929,196
セグメント利益又は損失（△）	△24,170	184,982	160,811	―	160,811

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	12,229千円	10,753千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。